

令和2年度 学校関係者評価会議報告書

1. 学校関係者評価の実施について

本校では学校運営について総合的に点検・評価し、次期の学校運営の改善に活かすことを目的とした「学校運営評価」を実施しています。

また、関係施設・団体、地域住民、同窓生から成る「学校関係者評価委員会」を組織し、「学校運営評価」結果の客観性・透明性を高め、本校と密接に関係する方々の理解促進や連携協力体制をより強固にすることを目的とした会議を実施しております。

2. 学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員

五十嵐 敏行 氏	みずき野東自治会（委員長）
上 野 寛 氏	一般社団法人 新潟鍼灸手技療法協会
鈴木 晃 氏	医療法人 水明会 佐潟公園病院
中原 穰 氏	新潟看護医療専門学校 同窓会つばさ会

事務局

浦 壁 英 紀	新潟看護医療専門学校 学校長補佐
鈴木 光 江	新潟看護医療専門学校 副校長
玉 川 史 記	新潟看護医療専門学校 事務局長

3. 評価対象期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

4. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施については、学校関係者評価委員の皆様には「学校運営評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見をいただきました。いただいたご意見は本報告書として取りまとめ、今後の学校運営の改善に活かしていきます。

5. 評価基準毎の学校関係者評価

■基準1 学校経営

【評価・改善点】

- ・実習や講義等の都合上、職員会議に参加できない教職員への情報共有の方法が課題となっている。
- ・中長期、単年度目標等について周知方法を再考する必要がある。目標設定を明らかにしつつ、教職員で問題意識の共有ができることが望ましい。

■基準2 教育課程・教育活動

【評価・改善点】

- ・実習時におけるインシデント予防策の検討及び分析が不十分である。
- ・カリキュラム改定に関わらず、教育課程については定期的に見直すことが求められる。

■基準3 入学・卒業対策

【評価・改善点】

- ・国家試験の合格率については高水準を維持している。
- ・学生が休学や中退に至るケースを教職員で共有し、勉強会を実施することが望ましい。

■基準4 学生生活への支援

【評価・改善点】

- ・カウンセラー制度を適切に周知し、学生が利用しやすい体制を作る。
- ・ボランティア活動について、学生への意味付けが不十分である。
- ・今後は卒業生への就職や転職サポートについても検討する必要がある。

■基準5 管理運営・財政

【評価・改善点】

- ・災害時の備蓄等危機管理体制が十分であるとは言い難いため、マニュアルの整備等可能な箇所から取り組む必要がある。
- ・学校運営に学生の意見を反映させるため、学生自治会等からヒアリングすることも有効であると考えられる。

■基準6 施設設備

【評価・改善点】

- ・建築から17年経過しており、経年劣化も目立つようになってきたため、施設の修繕を計画的に実施していく必要がある。

・令和2年度より実習備品については年度ごとに計画的に入れ替えを行っている。

■基準7 教職員の育成

【評価・改善点】

- ・学外の研修については精力的に参加しているものの、学内研修についての整備は未だ不十分である。
- ・学校が抱える課題については、学科会議や職員会議において適切に共有することが求められる。

■基準8 広報

【評価・改善点】

- ・WEBで情報収集し、出願に至るケースが増えているため、HPやSNSの更新頻度を高めることで精力的に情報発信をする必要がある。

■基準9 地域との連携

【評価・改善点】

- ・感染症対策との兼ね合いや人員の確保が困難であるため、実施方法を検討し、教職員だけでなく学生に対しても協力を仰ぐ必要がある。

以上